



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ

No. 19

令和2年2月28日発行

発行責任者 校長 金森 卓哉

「見えない中で」

「新型コロナウイルス感染症」に対応した臨時休業が始まりました。学校では休業期間中にご家庭との連絡や休業期間明けの授業や卒業式の取り組みについて、町教委との会議で話し合われた内容を基に話し合いを進めておりました。ですが、27日(木)夕方、内閣総理大臣は全国の小中高校を「3月2日から春休みに入るまでの期間を臨時休校に」という要請発表をいたしました。これを基に今後の方向性について再考され、方向性が決まり次第お伝えすることになると考えられます。

新聞によりますと、2月25日にこのウイルス感染者数は北海道が全国で一番多くなったという記事が載っておりました。

ご存じとは思いますが、この「新型コロナウイルス感染症」は、どんな感染症かといいますと、

- ・ウイルス性の風邪の一種で、発熱や喉の痛み、咳が長引くこと（1週間前後）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える人が多いことが特徴だそうです。
- ・感染から発症までの潜伏期間が1日～12.5日（多くは5～6日間）と言われています。

どのように感染するかについては、2つの感染経路があるようです。

- ① 飛沫感染（ひまつかんせん）：感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染するもの。
- ② 接触感染（せっしょくかんせん）：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りのものに触れるとウイルスがつきます。他の人がそれに触れるとウイルスが手に付着し、その手で、口や鼻に触れると粘膜から感染します。

重症化すると肺炎になり、死亡例が出ています。特に高齢者の方や基礎疾患のある方は重症化しやすい可能性があるそうです。

では、どのようなことに気を付けて生活していくかといいますと、

- ① 帰宅後や食事前に指先を丁寧に手洗いすることを徹底するだけで、感染リスクを大幅に減らすことができるということだそうです（北海道科学大学、秋原志保教授：感染症看護）。
- ② 咳エチケット：咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の人に病気をうつす可能性があるため「咳エチケット」を行うこと。
- ③ 不要不急な外出は控えるようにすること。
- ④ 子どもに毎日、体温や風邪の症状がないか記録をとるなどの健康観察を行うこと。

以上のようなことが学校に届く文書類に載っておりました。

新聞にこんな記事がありました。（北海道新聞 27日/朝刊）

2009年に新型インフルエンザが流行した際、大阪府と兵庫県の全域で小中高校などで一斉休校を一週間実施したそうです。この対応を検証した大阪府の報告書によると、学識者らから、一斉休校後に日別の患者数が大幅に減ったことを評価する声が目立ったという記事がありました。

見えないということは、非常に怖いことかもしれません。この病気が初めて報道された時、誰がここまでになると予想できたでしょうか。そして、この先どのように進んでいくのか、私たちにはわかりません。

子どもたちの健康管理をよろしくお願いいたします。教職員は、毎日出勤していますので、何かありましたらご連絡をお願いいたします。

（金森 卓哉）

